

事務事業名		栃木県都市税務協議会参画事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり				事業区分	担当	総合政策部	担当課	市民税課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					担当係	税政係	担当課長名	片野 憲
	施策	2 持続可能な財政運営の推進					新規事業・継続事業	継続事業		
	基本事業	1 市税の収納率の維持・向上					実施計画事業・一般事業	一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	2704	一般	2	2	1	栃木県都市税務協議会参画事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H12年度～ 年度		根拠法令 条例等	栃木県都市税務協議会会則				
						リーディングプロジェクト	該当なし			
						市長マニフェスト	該当なし			

1. 事務事業の現状把握[DO]

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)					
栃木県都市税務協議会に会員として負担金を支出している。負担金は軽自動車税申告書等の取りまとめ事務委託に係る負担金として支出している。 協議会主催の会議や研修会に参画することにより、税務事務に関する情報収集や意見交換を行っている。また、当協議会が軽自動車税申告書の取りまとめ事務を行っていることにより、円滑な軽自動車税の賦課事務が行われている。 ※栃木県都市税務協議会とは、栃木県内の市の連絡調整を図り、税務行政を円滑に推進させるため、県内14市の自治体を会員として構成している団体である。					(市の活動) 栃木県都市税務協議会に負担金の支出、分科会、研修会等への参加 (栃木県都市税務協議会の活動) 総会、幹事会、各分科会、徴収部会、市町村税務担当職員研修会の開催 軽自動車税申告書の取りまとめ事務					
活動指標					単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
研修会、分科会、総会、幹事会の開催回数					回	15	16	17		
軽自動車税申告書数(負担金内訳資料佐野市分)					件	16,753	18,197	21,271		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
県内14市の税務職員 (参画対象団体) 栃木県都市税務協議会					対象指標					
参画自治体数					市	14	14	14		
税務職員数					人	57	57	56		
申告書取扱件数(負担金内訳資料全体)					件	178,473	200,397	220,537		
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?) 税務職員の知識向上や情報交換が図られることで、税務事務が円滑に執行される。軽自動車税申告書が送付されることや県外転出車両のデータが入手できることにより、適正な軽自動車税の賦課が行われる。					成果指標					
専門部会の審議事項数					件	69	88	80		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
十分に歳入が確保されている。					上位成果指標					
収納率(現年度課税分)					%	98.7	98.9	98.5	98.5	98.5

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	322	393	432			
	事業費計(A)	千円	322	393	432	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	322	負担金	393	負担金	432
	人件費	人	10	10	10			
	のべ業務時間	時間	60	60	60			
	人件費計(B)	千円	233	236	236	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	555	629	668	0	0	

事務事業名	栃木県都市税務協議会参画事業	担当部	総合政策部	担当課	市民税課	担当係	税政係
-------	----------------	-----	-------	-----	------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和27年度に「栃木県都市財務協議会」として、県内市の連絡調整を図り、財務行政を円滑に推進することを目的に設立された。平成12年度からは「栃木県都市税務協議会」となった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	三位一体の改革による税源移譲や政権交代の影響などにより、税制改正が毎年行われ、目まぐるしく変化している。 景気は、緩やかな回復基調が続いているものの、どの市においても収納率向上に苦慮している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	23年度から、県の協議会への負担金削減分を各市で郵送代負担金として負担している。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 税務職員の知識向上や情報交換が図られることで、税務事務が円滑に執行されること、また、適正な軽自動車税の賦課が行われることは、市税の賦課事務及び収納事務が適正に、また、効率的・効果的に執行されることになり、市の歳入の確保につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 税務職員の知識向上を図ること、また、税に関する情報を収集することは、市税関係事務を執行するうえで必要なことである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 この事業は、栃木県都市税務協議会への参画をとおして、税務職員の知識向上を図ることを目的としていることや、軽自動車税を課税する上で必要な申告書に関する事業であり、対象、意図とも妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 税源移譲や税制改正が毎年行われ、税関係事務が複雑化しているなかで、税務職員の知識向上や情報収集は重要なことであり、この協議会をとおしての成果は十分出ている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 異動情報を電子データでもらえれば、入力作業の軽減が図れるが、現状では難しい。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 この事業に受益者負担はそぐわない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 異動情報の電子データ化については、各市の電算システムが異なり、それぞれのシステムに合わせる必要があるため、伸展していない状況である。互換性のある電子データで提供できるような研究を、栃木県都市税務協議会に引き続き働きかける。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				成果維持		○	×	低下		×	×	
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
成果維持		○	×																			
低下		×	×																			